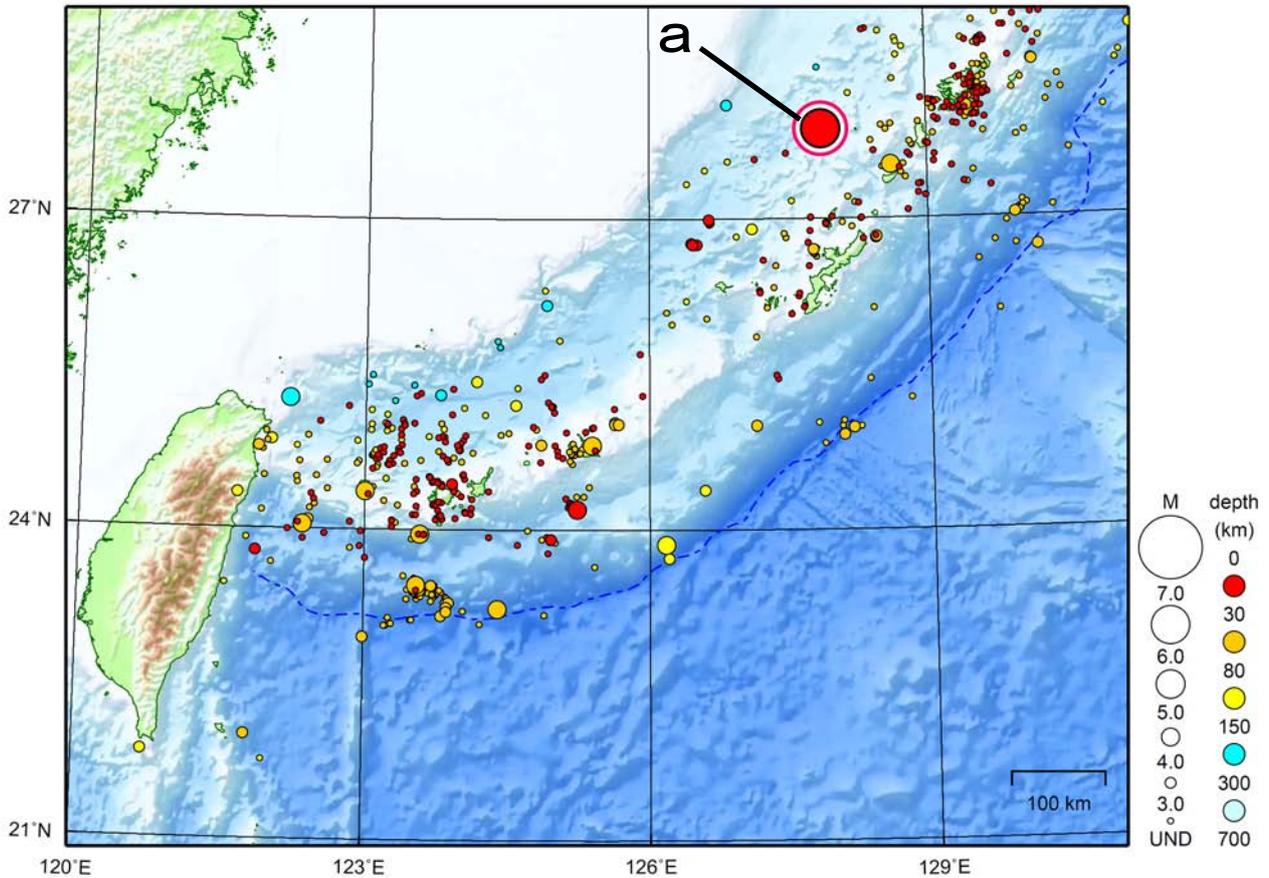


# 沖縄地方

2009/09/01 00:00 ~ 2009/09/30 24:00

N=2089



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

a) 9月29日に沖縄本島北西沖でM6.1の地震(最大震度3)が発生した。

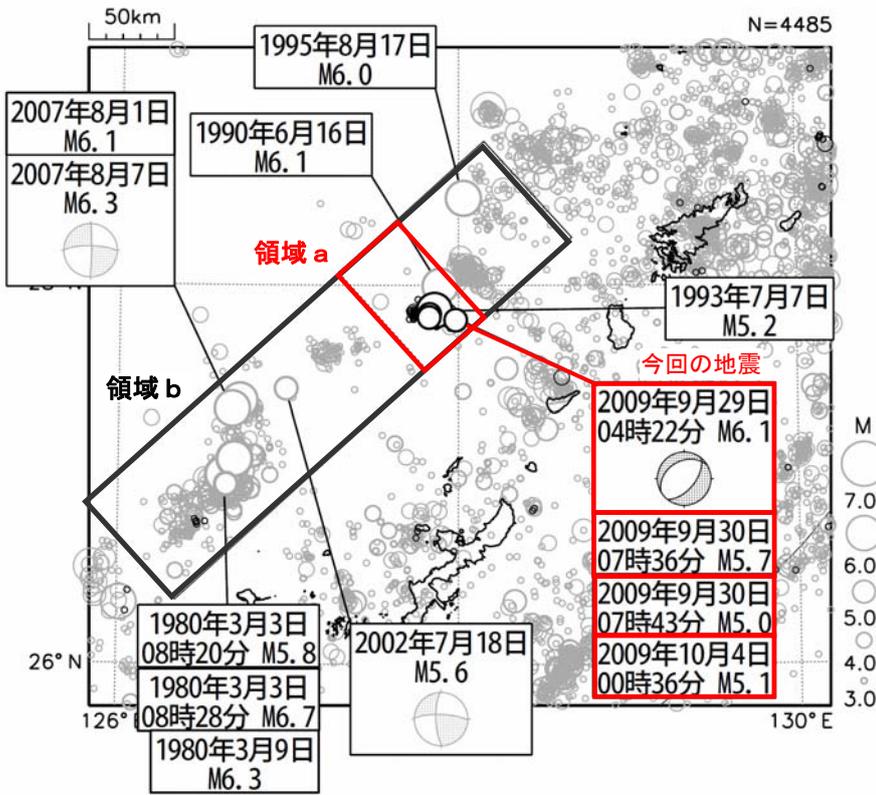
[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

# 9月29日 沖縄本島北西沖の地震

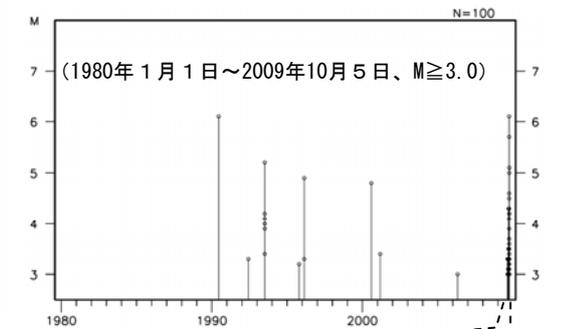
## 震央分布図

(1980年1月1日～2009年10月5日、深さ60km以浅、 $M \geq 3.0$ )  
2009年8月以降の地震を濃く表示、図中の発震機構は全てCMT解



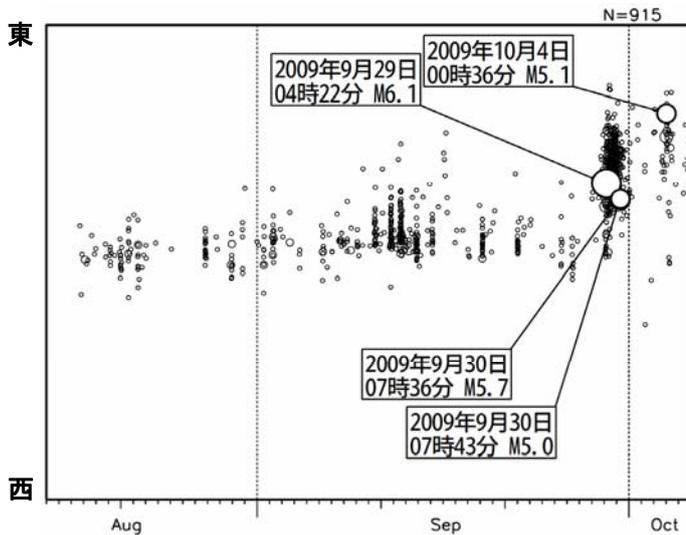
2009年9月29日04時22分に沖縄本島北西沖の浅いところで、M6.1の地震(最大震度3)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は、北西-南東方向に張力軸を持つ型で、沖縄トラフ拡大の方向と調和的である。この地震の震源付近では、8月中旬頃から地震活動が発生しており、M3~4程度の地震が度々発生していた。今回の地震の震源付近(領域a)でM5.0以上の地震が発生したのは、1993年7月7日のM5.2の地震以来である。

## 領域a内の地震活動経過図及び回数積算図

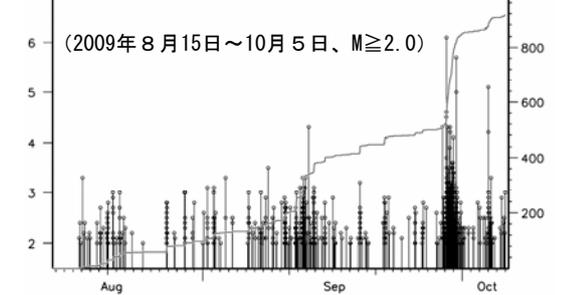


## 領域a内の時空間分布図

(2009年8月15日～10月5日、 $M \geq 2.0$ 、東西方向投影)



## 領域a内の地震活動経過図及び回数積算図



今年8月からの活動の時空間分布(左図)を見ると、9月29日のM6.1の地震は、8月からの活動の場所よりも少し東寄りであるように見える。

今回の地震の震源を含む沖縄トラフ沿いの領域(領域b)では、M5~6程度の地震が数週間のうちにまとまって発生するような活動が過去に何度も見られている。

## 領域b内の地震活動経過図 (1980年1月1日～2009年10月5日、 $M \geq 4.0$ )

